

ジャパン

# 日本

リベンジ

影響のK-山田昭出部

与国 秀真

YOKUNI Hotsuma



# はじめに

この漫画に記されていることは、  
すべて事実です。

そしてそれは、すべての日本の大人が、  
知らなければならない大切な内容です。

あまりにも重要であるために、  
書き途中の他のエピソードを飛ばして、  
このエピソード13を  
急いで描きあげました。

このエピソードから読み始めても、  
十分に内容は分かります。

危険を承知で、  
命を懸けて描いているために、  
真剣に読んでくだされば幸いです。  
ぜひ、この漫画が伝えている事実を知り、  
そして一人でも多くの方に、  
この事実を伝えてください。  
貴方の勇気が日本を救います。

与国 秀行

日本の役人に対する

最大の侮辱は、

たとえ感謝の気持ちからでも、

現金を贈ることであり、

また彼らのほうも、

現金を受け取るくらいなら

切腹を選ぶ。

ハイリンヒ・シュリーマン

トロイア遺跡を発見し、  
古代史研究に大きな影響を  
与えた考古学者  
ハイリンヒ・シュリーマン。

彼は日本に旅行した際、  
税関でささやかな**賄賂**を  
渡して、面倒な荷物検査を  
免除してもらおうとしました。

しかし当時の役人は、  
**賄賂をキツパリ**  
**断りました。**

日本男児たるもの、  
**心づけ（賄賂）**に  
つられて義務を  
ないがしろにするのは、

尊厳はもとる。

かつての日本の役人  
「侍」は、裕福な人ばかりでは  
ありませんでしたが、  
「貧しさ」を恥とはせず、  
むしろ自分に  
「徳」がないことを恥としていました。

ですから侍たちは、  
たとえ貧しくても  
尊敬されていました。

国民と日本を守る  
**「高貴なる義務」**を  
果たしていたからです。

しかし残念ながら  
今の日本は、

**「嘘だらけの国」**  
**「国民を騙す国」**

はなってしまいました。



現代の役人たちは  
物価が上がり、  
国民が生活に  
困窮しているというのに、

効果的な経済政策よりも  
「財源が足りない」という  
宣伝に力を入れています。



2%も増税?!

スゴイ!

特に財務省などは  
1%でも増税すれば  
出世できるため、

役人たちは  
あの手、この手で  
増税を繰り返しています。

現代の役人は、  
国民の生活より  
自分たちの生活や  
出世を優先している  
ように見えます。



その根本的な理由を明らかにしていきます。



しかし、「議員立法」が法律として可決される確率はわずか3割程度。

さらに、「野党が作る議員立法」が可決されることはめったにありません。

反対多数  
否決

また議員立法は、参議院では10人、衆議院では20人の賛成者がいなければ、法案の提出さえ出来ません。

つまり政党を持たない無所属議員や、少数の政党では、法律を作ることなどできないのです。

国会議員が法律を作れない。これが現実です。

それでも野党議員たちが次々と法案を出すので「仕事をしているフリ」「ただのパフォーマンス」という意見は根強くあります。

# 議員立法

国会議員が国会に法案を提出すること

しかし「議員立法」というこの言葉、なんだかおかしい言葉です。

国会はそもそも「法律を作る所」であり、国会議員の主な仕事は「法律を作ること」ですから、

「議員立法」という言葉が存在すること自体、おかしいのです。

提出人数：  
衆議院 20人以上  
参議院 10人以上


1996年8月  
「議員立法の活性化」  
土井たか子 衆議院議員  
藤岡兵輔 衆議院議員

まるで、議員以外にも、法律を作る存在がいるかのようです。


日本の政治の構造は一体、どうなっているのでしょうか？

# 国民の権利を守るための制度 「三権分立」\*について


※国の権力を国会・内閣・裁判所の三つに分けて、権力が集中しないようにバランスを取る制度



「裁判所」は法律を  
犯した者を罰するところです。



「内閣」は政治を行って  
世の中を動かすところ、



「国会」は法律を作って  
社会をより良くするところ、

国会

内閣

裁判所

国会、内閣、裁判所をもって  
「三権」と言いますが、  
実は「**三権分立**」  
なんてものはまやかしです。

なぜなら、  
「三権」を超えて  
国家運営に関わる  
「**抜け道**」が  
存在するからです。

# かくほう 「閣法」

これは、内閣で作る法案のことですが、  
実際に法案を書いているのは、

ほとんどが**官僚**です。

選挙で選ばれていない官僚が、

国民を縛る「法律」を

事実上作っており、

官僚の権力が

「三権」を超えて

大きくなっているのです。

国会で  
成立する法律の  
7／8割は  
「閣法」  
です。

法律が成立するには  
国会で何度も審議され、  
否決・可決を決めますが、

「閣法」は、  
9割以上の確率で  
可決されます。

可決

「閣法」が  
可決されやすい  
のには理由があります。

内閣に入れない  
下っ端の議員は、  
どんなにおかしな  
法案であっても、

「閣法」には  
逆らえないからです。  
なぜか？

政治家は、  
選挙によって  
選ばれますが、  
「選挙に負ければ  
ただの人」。

僕を政治家に  
してください!!



議員という肩書が  
無くなれば、  
仕事も収入も  
全て失うため、

絶対に選挙には  
負けられません。

失業して  
しまった…

生活  
してけるの  
かしらね  
借金  
すごい  
らしいよ





選挙で負けて  
失業しないためには、  
「党の公認」が欠かせません。

「公認」があれば、  
党の組織力や  
知名度を使って  
選挙に勝ちやすくなる  
からです。

カッコイイ!

頼もしい!



だから下っ端の議員は、  
「公認」欲しさに

党の幹部である  
「内閣」が提出する  
「閣法」には、  
逆らえないのです。

なんでも  
します!

公認  
ください!



その分かりやすい例が、  
「郵政民営化」です。

小泉内閣の「閣法」に  
逆らった国会議員は  
「党の公認」を  
もらえず落選しました。

選挙に  
負ければ  
高市総理も、  
小池都知事も、  
小泉チルドレンです。



明日までに全部読んでいてね

国会で作る法律のほとんどは官僚が法案を書いているため、



このように日本の政治家は、国会議員になっても内閣に入らない限り法律を作ることとは難しく、



国会議員が日本の政治を動かしているのではなく、

「閣法」が日本の政治を動かしているということの意味します。

選挙で選ばれていない官僚が法律を作り、

法律を作るはずの政治家は、本来の仕事を果たしていないわけです。

ON AIR

しかし政治家たちは  
虚勢だけは張ります。

「虎の威を借る狐」  
ではありませんが、  
国家権力の威を借る狐の如き  
国会議員たちは、

「自分たちが仕事をして、  
国を動かしているのだ」  
と、そのような素振りを  
人々に見せることだけは、  
とても長けています。

国民の前に現れると、  
忙しい先生の演技、  
物事を奥深く知り尽くした  
演技を見事に演じて見せて

挨拶だけで、  
サッと消えていくのが、  
彼らの常套手段です。

早く銀座に  
行ってくれ。


このように、  
残念ながら  
日本の三権分立は  
機能していない  
わけですが、

実のところ、  
官僚が日本の政治を  
動かしている  
わけでもありません。

日本の政治を  
動かしているのは  
官僚のさらには上にいる  
別の者たちです。

# にちべいごうどういんかい 日米合同委員会

戦後、日本の  
財務省をはじめとする  
各省庁の官僚たちは、  
日米合同委員会の  
支配下にあるのです。



日米合同委員会とは、  
アメリカ軍が  
日本でどう活動するか？  
「具体的なルール」を、


アメリカ側と日本政府が  
話し合って決める  
場ですが、

**国会などの  
承認を得ないまま  
「密約」を含む  
多くの合意を  
積み重ねてきました。**



また、日米合同委員会の  
**協議内容は非公開**であり、  
在日米軍に日本の**法律や  
主権を超える特権**を  
与えている実態があります。






なぜ『日米合同委員会』に  
日本政府を超える  
権限があるのでしょうか？

それは日本が、  
アメリカとの戦争に  
敗れたからです。

1945年、  
日本が戦争に敗れると、  
「GHQ」と呼ばれる  
占領軍が、日本を  
占領・統治するために  
やって来ました。



終戦後の取り決めである  
「サンフランシスコ講和条約」  
が日米で結ばれると  
GHQは解体されましたが、



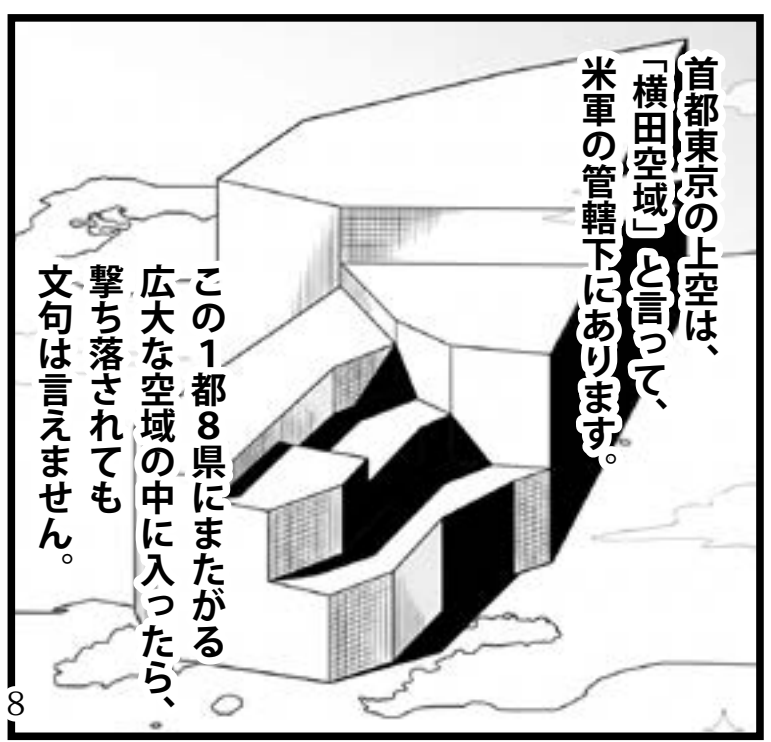
GHQ占領軍は  
在日米軍として  
日本にそのまま残り、

今も1331の  
米軍施設が  
日本全国にあります。

これは、戦後81年  
経った今も日本は  
**占領軍の  
監視下にある**ことを  
意味しています。



また日本の地上の領土も  
潜在的には、  
完全に米軍の支配下にあります。



首都東京の上空は、  
「横田空域」と言って、  
米軍の管轄下にあります。

この1都8県にまたがる  
広大な空域の中に入ったら、  
撃ち落されても  
文句は言えません。

たとえば2004年、  
沖縄国際大学に

**米軍ヘリが墜落した際、**



米兵によって  
「KEEP OUT」  
のテープが張られ、

日本人は誰も、  
日本の領土である  
墜落現場に入ることが  
許されませんでした。



しかも「NSA」元職員で、  
アメリカの

**違法な情報収集の実態**

を暴露し、ロシアへ亡命した  
エドワード・スノーデンによると、

アメリカは  
日本国民の  
監視について、  
日本政府に  
協力を求めたが、

日本政府から、  
「違法だ」と  
協力を断られた。

それでも  
独自にアメリカは、  
横田基地などから、  
**日本国民の**  
監視を続行した。

というのが  
このことです。



機密解除されて、

公開されている証拠資料からも、

『自民党』の岸信介、

『日本テレビ』

初代オーナー正力松太郎、

右翼の大物の児玉誉士夫、

**CIAのエイジेंट**で

あったことは消せない

歴史的事実であるし、

『自民党』が、  
法律で禁じられている、

**外国からの資金援助を**

受けていたことも、

消せない事実です。



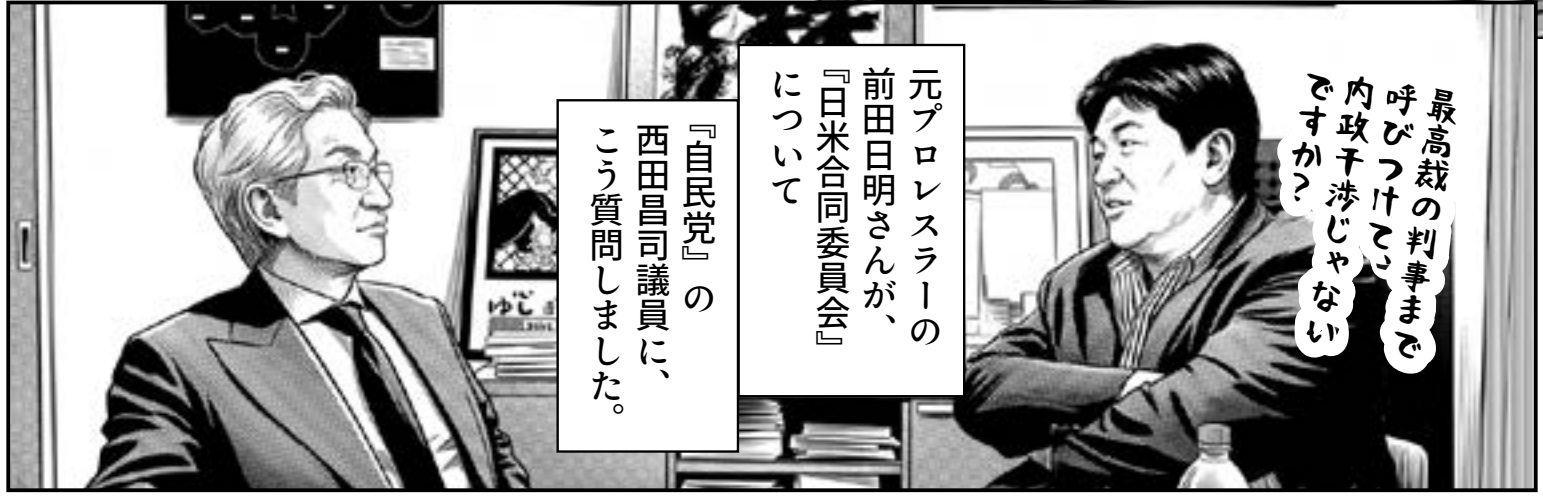


『日米合同委員会』  
によって、  
軍事的に脅されて  
いるために、

日本は、  
アメリカの思う通りに  
破壊され  
続けているのですが、

その破壊行為が、  
あまりにも狡猾で、  
ゆっくりと時間をかけて  
いるために、その事実  
になかなか気づかないのです。

これは、  
陰謀でも何でもなく、  
国会議員も認識している問題です。



最高裁の判事まで  
呼びつけよう  
内政干渉じゃない  
ですか？

元プロレスラーの  
前田日明さんが、  
『日米合同委員会』  
について

『自民党』の  
西田昌司議員に、  
こう質問しました。



逆らったら…？  
殺される！

実際は日本の政治家は、  
謎の死を遂げてきました。



もしも  
『日米合同委員会』に  
逆らったら  
どうなるんですか？

たとえば  
2008年9月、  
リーマン・ショック  
による不況がまだ  
後を引いていた当時、

中川昭一財務大臣は、  
ホワイトハウスに向けて  
次のように  
**猛抗議**をしました。

日本は黙ったまま、  
世界のキャッシュ・  
ディスプレイに  
なるつもりはない！

このやりとりを  
日本人で見ていたのは、  
産経新聞の特別記者、  
田村秀男ただ一人です。

その後、彼は謎の  
**酩酊会見**を行った  
責任を取って  
**財務大臣を辞職し、**

べろ酔い  
会見

さらにその半年後、  
**自宅で謎の死**  
を遂げました。

実は日本国民に見せられている  
約100兆円の国家予算、  
「**一般会計**」の奥に、

「**特別会計**」というものがあり、  
実際の日本の国家予算は、  
**約270兆円**ほどです。

しかしこの「**特別会計**」は、  
財務省のホームページに  
記載されているものの、  
国会できちんと  
議論されたことは  
ただの**二度**もありません。

2001年に民主党の石井紘基議員が、  
宮澤喜一財務大臣に、こう質問しました。

**特別会計が**

いくらか  
知っているか？

一度、  
お調べしまして…

情けないことに宮沢財務大臣は、  
「特別会計」を把握していませんでした。

石井議員は

「特別会計の闇」を

国会で暴こうとして、

その3日前の

2002年10月25日、

**殺害**されました。

彼は死の直前、

「日本がひっくり返るほど

重大なことを発表する」

と周囲に語っていたそうです。

殺害して刑務所送りとなった

暴力団員は、

テレビの取材で、

4500万円もらって

**殺害を頼まれた**

と、はっきり答えました。

ドキュメンタリー-宣言

私たち国民が納めた

税金の使い道を

政治家が正そうとすると

暴力団員に

**殺される。**

確かに日本は、

**危険な国**です。

この状況が

戦後何十年も続いています。

それはつまり日本が

キャッシュディスプレイセンサーならば、

私たち日本人が、

ATMであることを意味します。



しかしながら暴力団員が、  
お金をもらって、  
**政治家を殺害**  
するのでもいいようか？

アメリカのジャーナリストの  
デヴィッド・カプラン、  
アレック・デュブロという2人は、  
1986年に日本の  
**ヤクザと右翼**をテーマにした



『Yakuza』という本を出版して、  
その中で彼らは、

**衝撃的事実**を述べています。



戦後、GHQ占領軍は、  
地主制度、財閥、軍部と共に、  
ヤクザも解体すべきであった。

しかしGHQ占領軍は  
それをせずに、  
ヤクザの社会的な存在を  
容認すると共に、



さらにヤクザが不法に勢力を  
拡大しようとする  
その動きを黙認したり  
助長したりもしてきた。

つまり戦後のヤクザは  
アメリカによって  
生まれた。



これが本書を書く動機であった。

これを証明する証拠や資料は、米国立公文書館の機密解除文書から得た。



そして税金の闇を暴こうとする、日本の政治家は、暴力団員によって、殺されてきたわけです。



「アメリカが戦後、日本のヤクザを存続させ、黙認し、助長してきた」これは米国の公式文書で明らかにになっている事実です。



岸信介は、兎玉と同様にA級戦犯容疑者として巣鴨拘置所に三年の間収監されていた。



『ニューヨークタイムズ』の記者ティム・ワイナーは、『CIA秘録—その誕生から今日まで—』という書籍の中で、次のように書いています。

東条英機ら死刑判決を受けた  
7名のA級戦犯の刑が  
執行されたその翌日、  
岸は見玉らとともに釈放される。



釈放後、岸はCIAの  
援助とともに、  
支配政党のトップに座り、  
日本の首相の座まで  
のぼりつめるのである。



岸信介は日本に台頭する  
保守派の指導者になった。

国会議員に選出されて  
四年も経たないうちに、  
国会内での最大勢力を  
支配するようになる。



政党が外国勢力から、  
資金援助を受けることは、  
犯罪なのですが、

CIAから『自民党』に対して、

犯罪行為の資金提供が

あったことは、

消すことのできない

歴史的事実です。

つまり米国産『自民党』には、

アメリカの利益を損なう政治家は、  
不必要なわけです。





ロッキード事件は  
貴方が仕掛けたんじゃないの？

ホワイトハウス在住記者の  
ジュリー・ムーン（文明子）は、  
アメリカの政治家  
ケンリー・キッシンジャーに、  
こう質問しました。

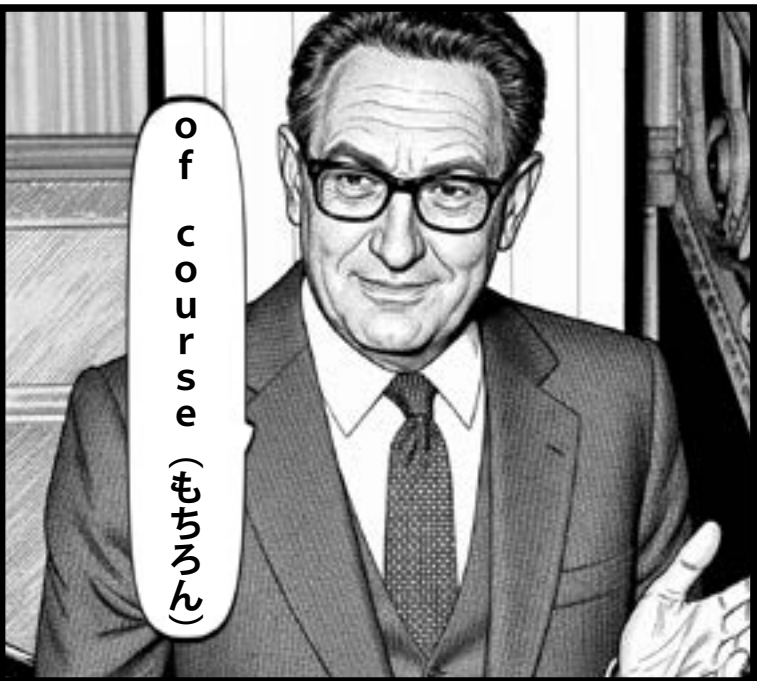


その良き例が田中角栄です。

彼が総理大臣を務めていた頃、  
「ロッキード事件」によって、  
彼は逮捕されて、  
首相の座を退陣しましたが、



田中は生意気だ。  
田中くらい（の総理大臣）は  
いくらでも変えられる。



Of course（もちろん）



ロッキード事件は冤罪だった。

（田中角栄氏を）追い落とそうとした  
米政権のワナにはめられた。

2016年8月、  
元大臣の石井一氏も  
『冤罪』という書籍を書き、  
こう述べています。

**冤罪**  
田中角栄とロッキード事件の真相  
石井一

「キッシンジャーにやられた」オヤジは言った。そして日本は田中角栄を失った。

自らも「郵便不正事件」で特捜部による「冤罪」を目の当たりにした著者が、あの事件の経緯、マスコミに改めつつ角栄の真実。

「側近中の側近」がはじめて明かす！

東大を卒業され、  
多摩大学の名誉教授でもある  
政治評論家の日下公人は、

くだらない陰謀論や  
都市伝説を信じるような、  
そんな人物ではありません。



その彼が、  
キッシンジャーについて  
『自主防衛を急げ！日本人の覚悟』  
という書籍の103ページで  
こう述べています。

キッシンジャーは退官後、  
1回500万円くらいで  
講演をたくさんしたが、  
一番人気があった題目は  
「日本から儲ける方法」  
だったそうです。

その答えは「まず殴れ」で、  
その理由は  
「日本人はサラリーマン  
ばかりだから  
自分の意見がなくて、

殴れば新しいカードを  
出してくる。  
殴らないと  
時間稼ぎをする」  
からだそうです。



「まず殴る」  
 そんな考えのもとに、  
 日本のために働く、  
 多くの政治家たちが、  
 姿を消してきたわけです。

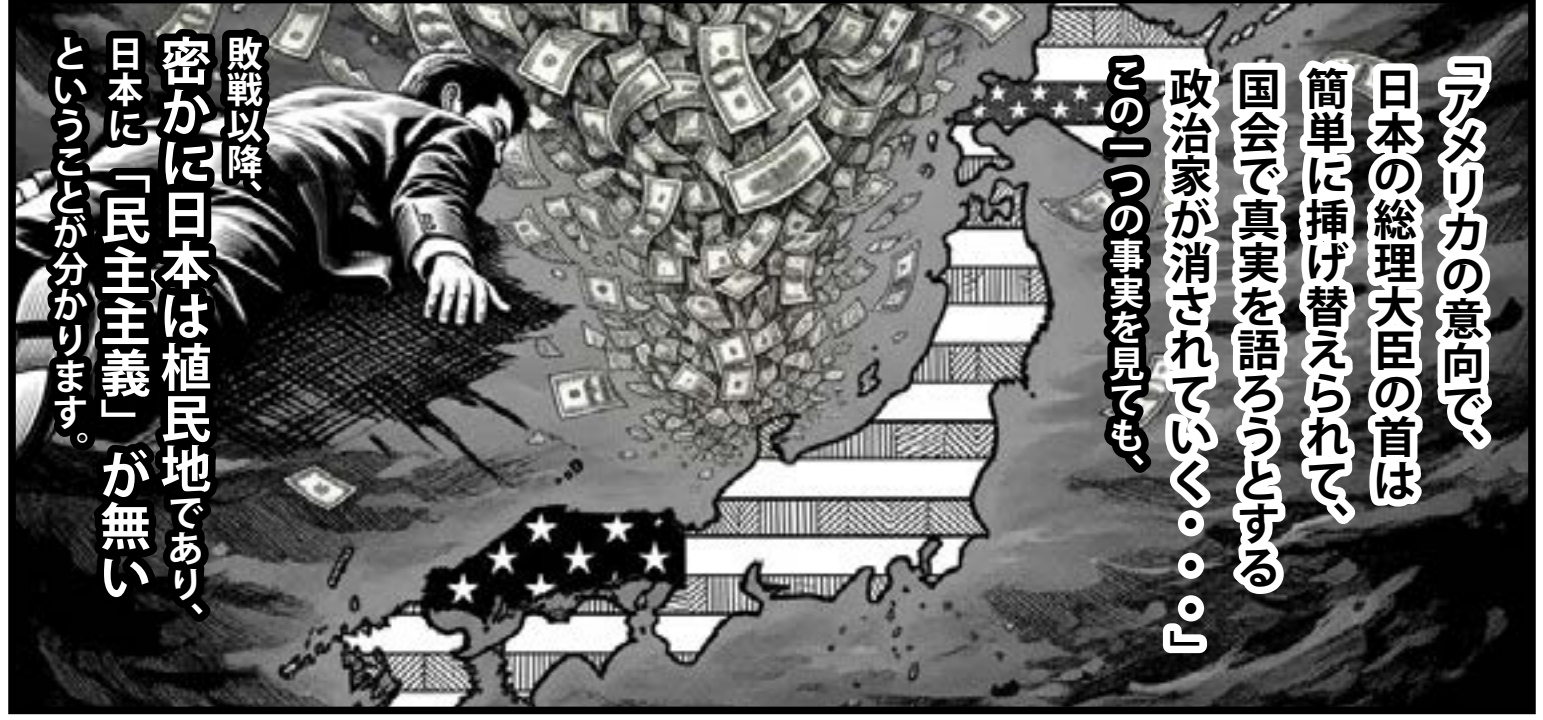
# 「雨の牙」という 小説があります。

主人公のジョン・レインは、  
 日本人の父とアメリカ人の  
 母を持つ日系アメリカ人で、  
 CIA工作員であり、  
 そして暗殺者でした。  
 この小説に対して、  
 翻訳家であり、  
 またジャーナリストでもある  
 マーク・シュライバーは、  
 次のように書評を書きました。

**東京**は、  
 電話が盗聴され、  
 スパイが銃を撃ち合い、  
 電車に乗る時には  
 必ず自分の背後を  
 確認する必要がある  
**危険な街**である。

これは**真実**です。





「アメリカの意向で、日本の総理大臣の首は簡単に挿げ替えられて、国会で真実を語るうとする政治家が消されていく。。。この「」の事実を見ても、

敗戦以降、密かに日本は植民地であり、日本に「民主主義」が無いということが分かります。



なぜなら「民主主義」とは、国家の主権が国民にあり、国民が代表者を通じて、政治的な決定を行う仕組みであり、実際にはこれが、日本では、まったく行われていないからです。

表現を変えれば、『日米合同委員会』の下で、見事に「グローバリズム」の洗脳を受けた者だけが、政治家でも、官僚でも、出世を遂げることができて、洗脳を受けていない者は降格、もしくは消されていくわけです。



お金を握っているために、「一番、権力が強い」と言われている財務相に言えは、「増税すれば出世を遂げて、減税すれば降格させられる」といった具合です。

この「増税」において、日本の景気とか、国民の暮らしとか、そんなことは構いなしです。



実際に戦後の日本では、『日米合同委員会』を通じて、たびたび内政干渉されてきました。

それが

# 年次改革要望書

です。

日本はアメリカから『年次改革要望書』というものを突き付けられて、



たとえば「派遣法の改悪」によって、それまで禁止されていた製造業でも派遣社員を使えるようになり、

そのために急激に正社員が減って派遣社員が増えました。



「日本郵政」を民営化させたり、「派遣法」などを変えさせられてきたのです。



こうしていつしか日本は、世界で最も派遣社員の多い国となってしまうました。

それは  
はたらいても、  
はたらいても、  
暮らしが楽にならない  
人ばかりの国に  
なったということです。



一人二人の財布の中が少なくなれば、国内で使われるお金の総量が減るからです。



派遣社員が増えると国内で回るお金、いわゆる「内需」が減るために、経済においては大打撃です。



戦後の日本はアメリカに圧力をかけられ、時には内政干渉もされることで、私たち日本人の努力は、日々、踏みにじられてきたのです。



実は「プラザ合意」から「日米半導体条約」、  
「会社法の改悪」など、  
他にもあげたらキリがありませんが、



いろいろな表現がありますが、その背後には、こうしたアメリカからの圧力、そして内政干渉が、確かにあったわけです。



「長引く不況」とか、  
「低迷する日本経済」とか、  
「失われた三十年」とか、



そして極めつけとして、  
強度に洗脳された官僚たちによる、  
「閣法」が存在するわけです。



そのアメリカの圧力、  
そして内政干渉が具体的には、

『日米合同委員会』であり、  
『年次改革要望書』であり、



『年次改革要望書』は一度、  
廃止されましたが、  
『日米経済調和対話』として、  
今もカタチを変えて存続しています。

財務省



次々と法律が作られ、  
世の中を動かされているのですから、  
このまま時代が進めば、  
確実に日本は破壊され続けます。

日本は洗脳され尽くされた  
各省庁のエリートたちによる  
「閣法」によって、



だから総理大臣が、  
いくらどんなことを考えて、  
何を望んでいようと、



「派遣法」などによって、日本人を貧しくさせておいて、「ワーキングプア」、「ひきこもり」、「ニート」を量産したところで、

彼らは、「労働力」を口実に密かに移民政策を行って、こうしている今現在も、日本を破壊しているわけです。



と、すぐに意見を変えたのは、国会や内閣が、日本を動かしていないことを、物語っていると云えるでしょう。

2028年度に  
123万人の移民!



たとえば高市早苗首相は、

移民はゼロベースで見直す!

と語りつつも、



しかしGDPでは、ドイツや中国に追い抜かれ、一人当たりの名目GDPでも、ついに韓国にまで追い抜かれたわけです。



だから本来なら日本人は、もっと豊かな暮らしができるのに、



実際にすでにアメリカは、  
超格差社会が完成しつつあり、  
固定資産税がかからない  
安いトレーラーハウスで  
暮らす人が増え続けています。



しかしだからと言って  
アメリカ国民が、  
日本人から搾取した富を、  
享受できているわけではなくて、

アメリカもまた、  
金融支配されてしまった、  
悲しき国なのです。



なぜなら  
武器の売買などを含めて、  
戦争で利益を上げている  
「軍産複合体」  
というものが、

アメリカ国内において、  
確固たる地位を獲得しているからです。



たとえば1991年に  
イラクがクウェートに  
侵攻した時、

アメリカ国民は  
中東の紛争に  
介入することに反対しており、  
世論は「戦争反対」でした。



こうして世界中の人々が、  
イラクのフセインは、  
ナチスのヒトラーの  
ような狂った男だ  
と騙されて、



するとどこからともなく、  
「ナイラ」という少女が現れて、  
涙ながらにこう語りました。

イラク兵は武器を持たない  
市民にまで銃を乱射し、  
病院に侵入して  
赤ん坊を床に……。



いつしか世論は  
「戦争賛成」に変わり、  
湾岸戦争が始まりました。



しかし、  
たしかにナイラは、  
クウェート人女性でしたが、  
ただの二度もクウェートには  
行ったことはなく、

オイルマネーで  
アメリカで優雅に暮らす  
スーパースレブであったことが、  
後の調べで明らかになりました。



こうしたことを仕掛けて、戦争で利益を上げるのが、「軍産複合体」であり、その「軍産複合体」が、アメリカのマスコミを動かし、アメリカの世論を動かす、

そして米議会をも、動かすまでになっているために、たとえアメリカ国民が平和を求めている、アメリカは戦争に踏み切るわけです。



軍産複合体の元締めが国際銀行家であり、ドルを発行している『FRB』ですが、しかしアメリカの憲法1条8節5項には、明確にこう記されています。

The Congress shall have Power to coin Money, regulate the Value thereof, and of foreign Coin, and fix the Standard of Weights and Measures.

(米議会は、貨幣を鋳造し、その価値及び外国貨幣の価値を規制し、度量衡の基準を定める権限を有する。)

「アメリカの『通貨を発行する権利』は、米議会にこそある」と合衆国憲法では定められているのですが、



しかし実際は、  
憲法違反である  
民間の中央銀行の  
『FRB』が  
ドルを発行しています。

そして  
その憲法違反のドルが、  
『世界の基軸通貨』  
となっているわけです。



アメリカの歴史では  
4人の大統領が暗殺されてきましたが、

その4人の共通点は、  
『銀行と対決した』  
ということですよ。



そして『FRB』とか、  
『日本銀行』といった、  
世界中の民間中央銀行を、  
管理、統括しているのが、

『現代のバベルの塔』  
とも言える、  
スイスのバーゼルにある、  
『国際決済銀行BIS』です。

すべての銀行の上に君臨する、  
この「中央銀行の中央銀行」も、  
国連とも、スイス政府とも、  
何も関係のない民間銀行です。



これは結局において、  
世界の金融経済が、  
強欲な金融エリートたちによって、  
詐欺に基づいて、  
動いていることを意味しています。

それはつまり、  
私も、貴方も、  
「詐欺グループの被害者」  
ということですよ。



それは別の表現をすれば、  
地球は今現在、  
悪魔的な詐欺によって回っているよ、  
そのように言っても  
過言ではありません。



では、その強欲な金融エリートとは、  
果たして何者なのでしょう？



それを明らかにしてくれたのが、  
「エプスタイン文書」です。

今、世界を騒がせている

# 「エプスタイン事件」



アメリカの富豪  
ジェフリー・エプスタインを  
中心とした少年少女の  
性的人身売買スキャンダルが、

政財界のみならず

ハリウッドスターにも

波紋を広げています。

これは、ジャニー喜多川が  
行ったような性加害事件とは、

全く別次元の問題です。



なぜならエプスタイン事件によって  
すでに消滅したと思われていた

## 悪魔崇拝

の存在が明らかになりつつあるからです。





# 「バアルとは 「バアル・ゼブブ」 「悪魔」です。」

エプスタインは、  
「BAAAL」という名前の  
銀行口座を持っていたと  
噂されており、  
実際、米司法省が公開した  
『エプスタイン文書』には、  
「baal」という単語が  
何度も出てきます。

From: Jeffrey Epstein  
To: William J. Barr  
Date: July 1, 2019  
Re: The C.O.B.

Please wire Elovn (\$11,08.10) from  
Baal. name: Wachovia Bank  
Routing [redacted]  
Account #: [redacted]  
Account Name: One Clearlake Centre, LLC  
Reference: The Florida Science

Baal. name: Wachovia Bank, N.A.  
Routing [redacted]

...and surplus of at least \$200,000,000 (or the equivalent) ...  
...vision or examination by Federal or state authority, hav  
...at least "Baal" by Moody's (and if rated "Baal" by Mo  
...ossible downgrade) and "BBB" by S&P and having an  
...corporation, or trust company, an "Eligible



乳児が  
バラバラに  
される儀式や

遺体を  
食べている  
人々を見た



私は  
「バアルのカルト」  
に育てられた

エプスタインの姪  
アーニャ・ウィック

FBIのインタビューに答えた  
匿名男性



# 悪魔崇拝者 たちが蹂躪された 悲しき国、 それが アメリカです。

このような信じがたい  
証言が次々と告発され、  
「悪魔崇拝」がアメリカの  
エリート達の中で  
密かに続いていたことが  
明らかになりました。



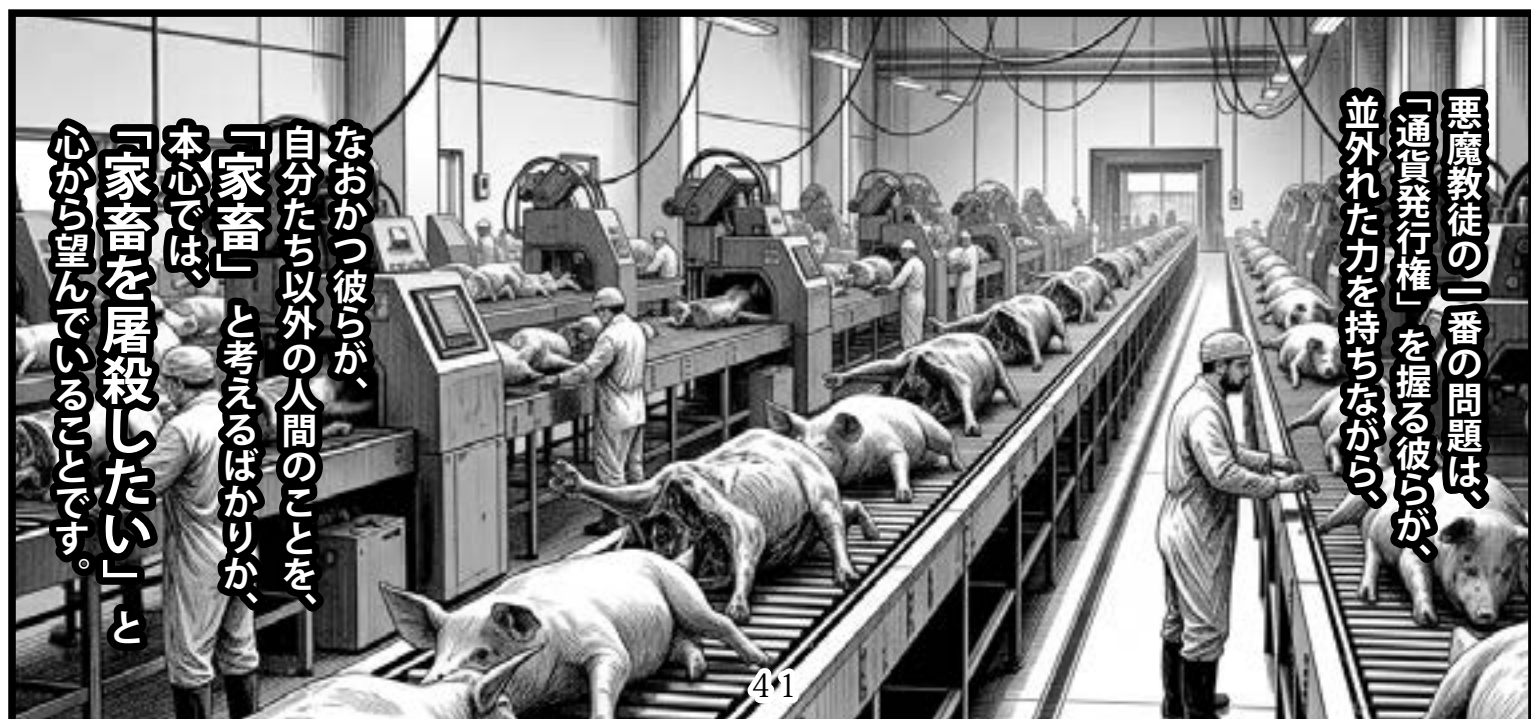
「いくら何でも  
悪魔崇拝なんて  
信じられない!」  
それが日本人の感覚ですが、

「百聞は一見に如かず、  
信じられない方は、  
下の動画をご覧ください。」

📺 動画のQRコード



# エプスタイン事件 人類史の大転換



悪魔教徒の「番の問題は、  
「通貨発行権」を握る彼らが、  
並外れた力を持ちながら、

なおかつ彼らが、  
自分たち以外の人間のことを、  
「家畜」と考えるばかりが、  
本心では、  
「家畜を屠殺したい」と  
心から望んでいることです。



日本のエリート官僚たちが、  
バブル崇拜を行っている  
金融エリートたちから、  
「グローバルズム」という  
洗脳を受けて、  
そして操り人形となって、

日本を破壊し続けて、  
豊かな日本国民を、  
苦しめているわけです。



では、なぜこんなことに  
なっているのかと言えは、  
それは  
「報道規制」があるために、

日本のマスコミは、  
真実を報じれないからです。



1945年9月19日  
GHQによって  
「プレスコード」  
が発令されました。

「サンフランシスコ講和条約」で、

GHQはそのまま

「在日米軍」として残り、

「バアル式  
プレスコード」

もまた今なお日本の  
マスコミに生き、

言論統制

が続いているわけです。

『Google』の親会社  
『Alphabet』を営む者も、  
『エプスタイン文書』に  
名前があるように、

『YouTube』で真実を語ると  
アカウントごと削除されてしまいます。

それは結局、  
『YouTube』も、  
悪魔の手の中にあることを、  
意味しています。

テレビもダメ、  
『YouTube』もダメなら、  
残された手段は、  
『X』などを使いながら、  
人から人へと  
真実を語るしかありません。



しかし「くらマス」に「報道規制」が敷かれ、『YouTube』も、真実を伝えられないからと言いつて、

なぜ、これほど多くの日本国民が、重大な事実を、何も知らないままに生きているのでしょうか？



これは本当に酷な話なのですが、しかし私たち日本国民は、もつそろそろ勇気をもって、

**秘されてきた重大な事実**と、向き合わねばなりません。



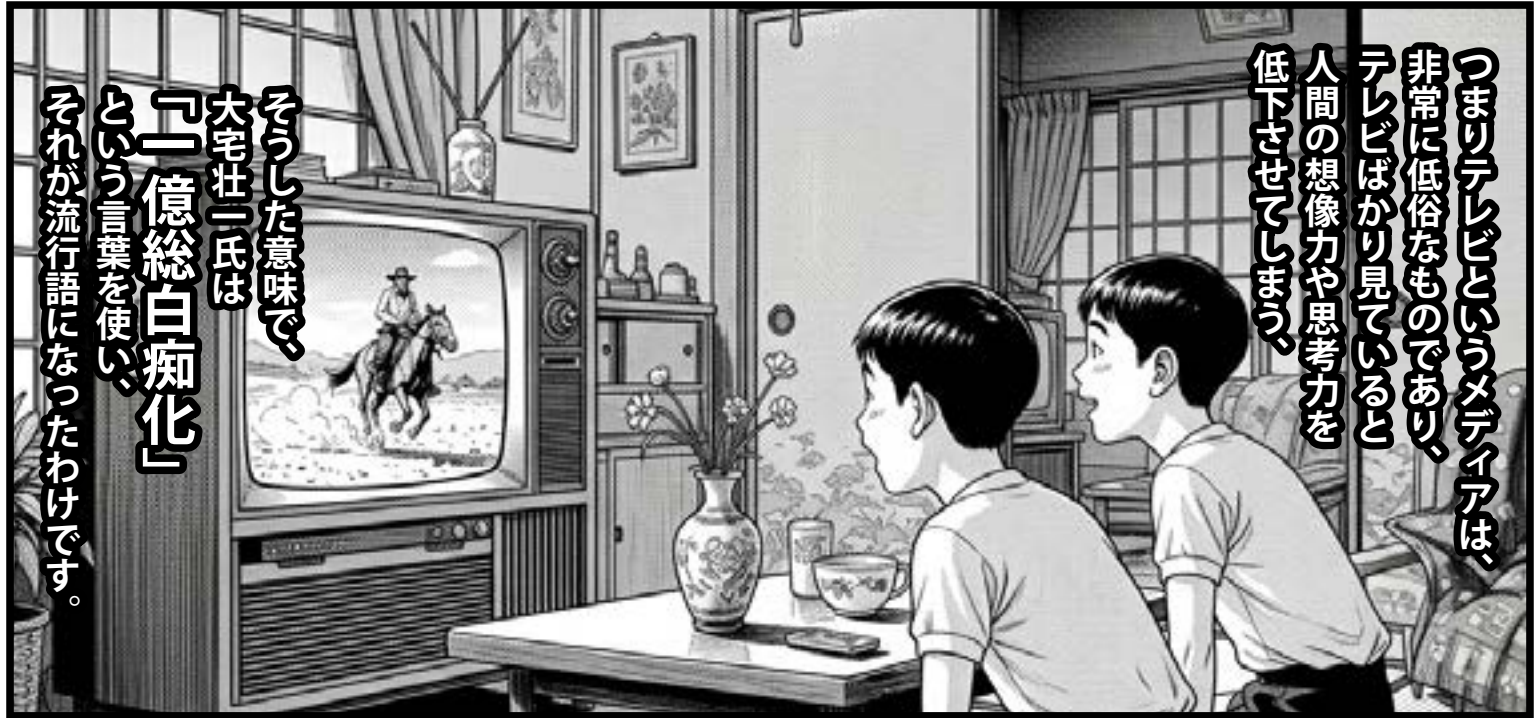
戦後の社会評論家の大宅壮一は、こう述べました。

テレビに至っては紙芝居同様、否、紙芝居以下の白痴番組が毎日ずらりと列んでいる。

ラジオ、テレビという最も進歩したマスコミ機関によって、『一億白痴化運動』が展開されていると言って好い。

つまりテレビというメディアは、非常に低俗なものであり、テレビばかり見ていると人間の想像力や思考力を低下させてしまう、

そうした意味で、大宅壮二氏は「一億総白痴化」という言葉を使い、それが流行語になったわけです。



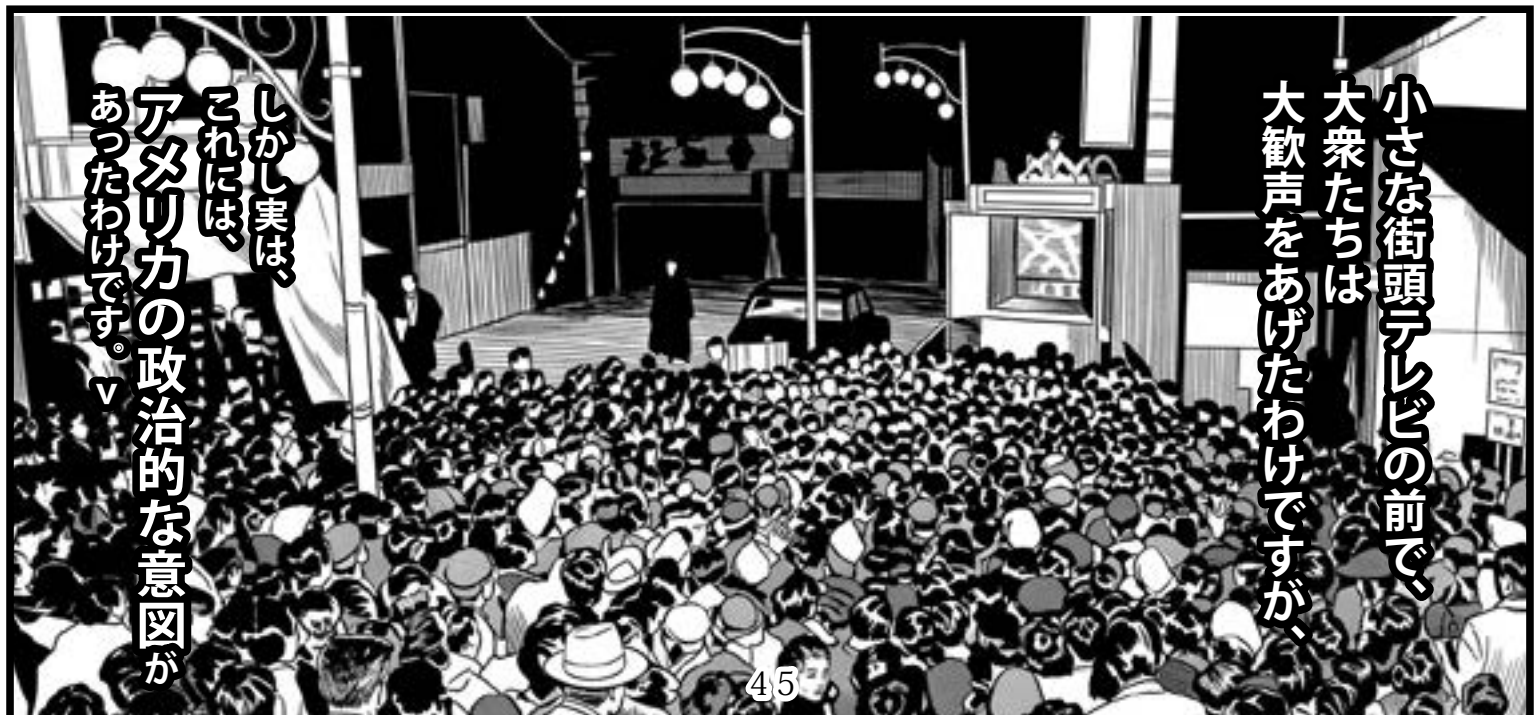
「日の丸」さえ掲げられない戦後の息苦しいGHQ占領下の中、駅という駅に街頭テレビが設置され、

CIAのエージェントである正力松太郎がオーナーを務める『日本テレビ』が、力道山の空手チヨップを報道すると、



小さな街頭テレビの前で、大衆たちは大歓声をあげたわけですが、

しかし実は、これには、アメリカの政治的な意図があったわけです。v





私の他の漫画(エピソード8)で、すでに詳しく説明しておりますが、**バアル信仰を行う者たちは、日本人をATMとして、永久に金融搾取を続けるために、**



光帝明江  
日本政府が、密かに日本を破壊し続けても、国民には「それも仕方がない」「政治は変わりっこない」と納得させ、受け入れさせ、

あきらめさせるために、**実は教育とマスコミを通じて「愚民化政策」を展開してきたのです。**



とても厳しい現実を述べますが、**今も占領中の隠れATM植民地の日本**において、

**「愚民化政策」**が徹底的に行われてきたからこそ、日本の大半の大人が今現在、政治がまるで分からなくなっているのです。



極めて重要な真実を述べますが、

「日本人は皆、

一億総愚民化政策の

一億総被害者」なのです。

その「愚民化政策」とは、

「ついでに、

W・G・I・P」

と呼ばれるもので、



「戦争責任は、

すべて日本にある、

「日本は悪い国、

「日本は酷い国」

と徹底的に教え込んで、

洗脳し尽くして、

日本人として誇りを奪い、

「日本なんか

どうでもよくない?」

と考えさせるのです。



あるいは

「パネルロジヤパン」

と呼ばれるもので、

敗戦後の日本において、

「親米感情」ならぬ、

「尊米感情」を育てるのです。



あるいは「愚民化政策」とは、『SS政策』と言われるもので、

人々の意識を、政治から完全に切り離して、テレビを通じて、プロレスや野球などのスポーツ (sports) などが、



ドラマや映画といったスクリーン (screen) などが、



性的なもの (sex) などが、そうした別のものに、向けさせることです。



ですから変わるべきは、  
実は政治家や官僚ではなくて、  
私たち日本人すべての  
「意識」なのです。

政治に無関心になって、  
「政治なんてどうでもいらい」  
と考えることが、  
実は大きな間違いだったのです。



「どうせ政治は  
変わらないだろう」  
「誰やっても同じだ」と  
あきらめてしまうことも、  
やはり大きな間違いだったのです。

たとえテレビや新聞を見ても、  
何も政治の真実が無いために、  
政治に無気力に  
なってしまうことも、  
結局は、私たちを自由にはしません。



日本人の心こそが、  
ATMの金融植民地と化している  
この悲しい現実を変えるほどに、  
成長しなければならぬわけです。



昔は良い政治家がいたのですが、しかし良い政治家はすでに消され

もはや現在の『自民党』は、強度に洗脳された官僚たちに、完全にコントロールされ続ける、『悪魔の不自由愚民党』です。



『自民党』にも、田中角栄さんとが、中川昭二さんとか、



日本でも、アメリカでも、消されてきたのです。



人民の、人民による、人民のための、本当の民主政治を、実現しようとする政治家は、



しかし『悪魔産の不自由愚民党』を選んでるのは、結局は私たち日本国民です。



狡猾な悪魔崇拝者たちは、人々をあざむくために、最初はまともな政治家を、『自由民主党』にも入れてたんですが、今や完全に『不自由愚民党』です。



次々と奪われる自由、  
この惨状を放置しているのは、  
愚民政策の被害者である、  
すべての私たち日本国民です。



「闇法」によって、  
次から次へと  
破壊されている日本を、  
黙って見過ごしているのは、  
他ならない私たち日本人なのです。



逆に国民の政治意識が高く、  
徳ある政治家が  
選び出されていく政治を、  
「徳治政治」と言いますが、



国民の意識が、  
「パンとサーカス」に向けられ、  
腐敗した政治が行われることを、  
「衆愚政治」と言い、



日本の政治を、  
「衆愚政治」から、  
「徳治政治」へと変えるものは、  
日本人の心です。



2026年2月の衆院選挙で、『不自由愚民党』は二千万票を超える票を獲得して、単独で法案を通すことができる。3分の2の310議席を超えましたけれども、

本当に日本を素晴らしくしていくためには、最低でも三千万人の真実に目覚めた日本人が必要です。牧島かれん



しかし日本の有権者は1億人を超えており、投票率はまだ50%台と低いのですから、

ゆくゆくは六千万人、八千万人といった目覚めたる日本人が必要不可欠と言えるでしょう。



だからどうにかお願いします。

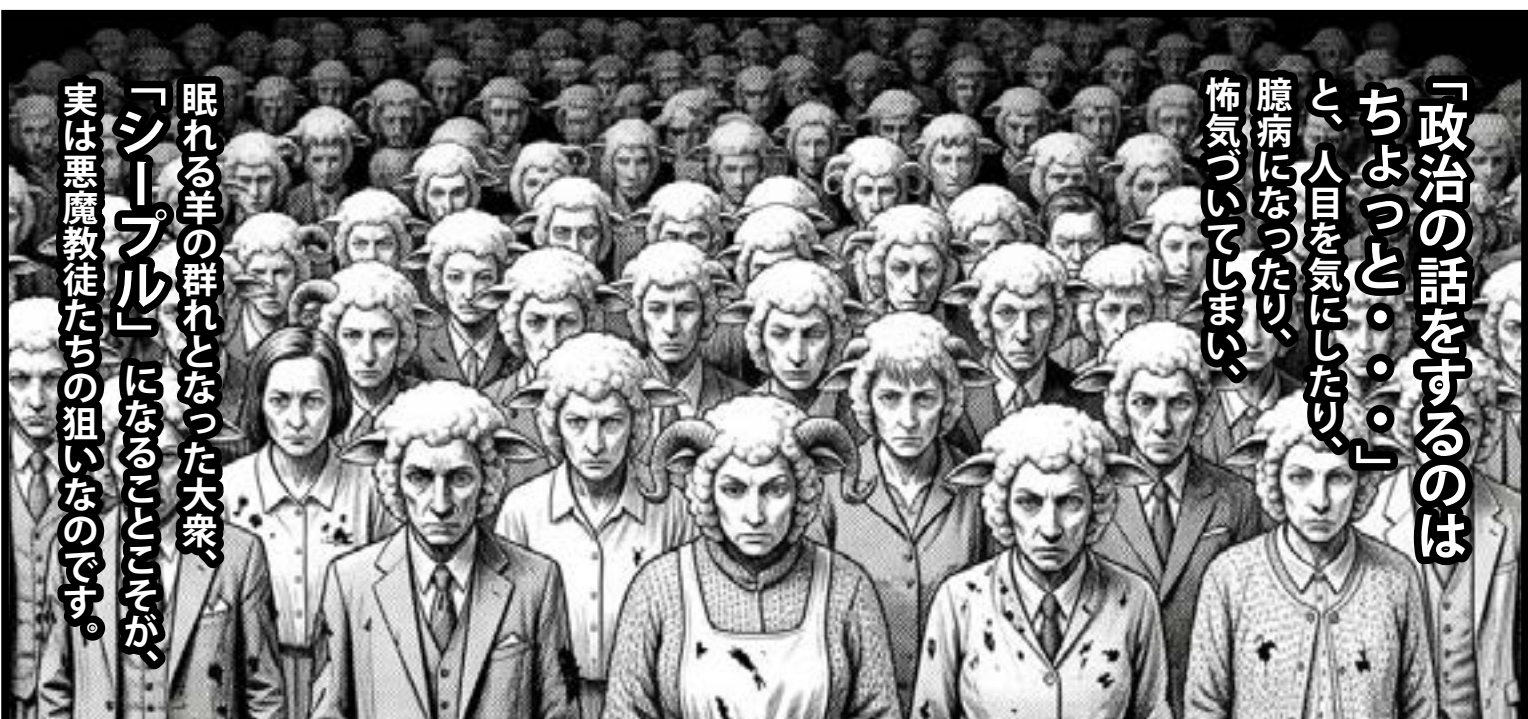
貴方の愛と勇気で、この漫画を、一人でも多くの方に届けてください。



あるいは  
この漫画に書かれている内容を、  
貴方がご自身の言葉で、

愛を込めて、  
勇気を奮って、  
ご家族やご友人に  
語ってください。

なぜなら  
今の日本人の政治意識の  
ままでは、  
日本は何も変わらずに、  
ただ破壊され続けるからです。



「政治の話をするのは  
ちよつと・・・」  
と、人目を気にしたり、  
臆病になったり、  
怖気づいてしまふ、

眠れる羊の群れとなった大衆、  
「シープル」になることこそが、  
実は悪魔教徒たちの狙いなのです。



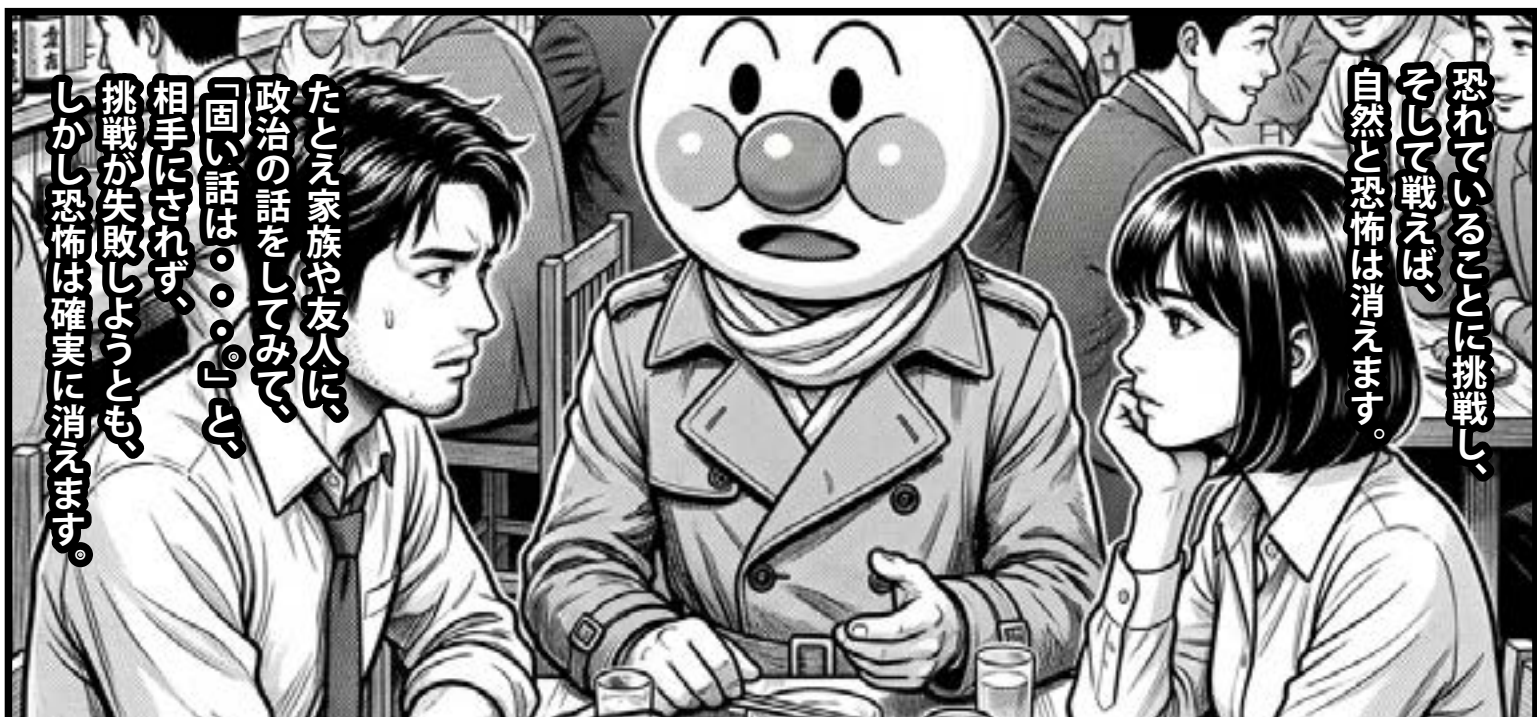
むしろ悪魔教徒たちは、  
私たちが愛と勇気でもって  
行動することを一番恐れています。

日本人が、  
正義のために立ち上がる  
ことを、悪魔教徒たちは、  
最も恐れています。



今、日本人に必要なこと、それは「恐怖との戦い」です。

そして「恐怖を消す方法」は、「恐れていることに挑戦する」ということです。



恐れていることに挑戦し、そして戦えば、自然と恐怖は消えます。

たとえ家族や友人に、政治の話をしてみて、「固い話は。。。」と、相手にされず、挑戦が失敗しようとも、しかし恐怖は確実に消えます。



そして挑戦した経験だけは残ります。

それは「恐怖に打ち勝った」という経験であり、この経験は、「人間としての成長」につながります。



なぜなら、たとえ  
**辛く悔しい経験であっても、**  
その辛さや悔しさは、  
次の挑戦へのバネへと、  
変えられるからです。

そうした政治において、  
挑戦する愛と勇気が、  
**今、日本のすべての大人に**  
求められています。



なぜならそれが、  
悪魔勢力が  
私たち日本人に仕掛けた、  
「愚民政策」を乗り越えていく、  
**残された唯一の方法**だからです。

この時に大切なことは、  
**「言い訳の天才」**になるのではなく、  
**「行動の天才」**になることです。

**「行動の天才」、**  
それを日本では、  
**「侍」**と呼ぶのです。



どうか  
**日本の未来のために、**  
一人でも多くの方に、  
真実を伝えてください。

テレビや新聞、  
『YouTube』では、  
絶対に語られることのない  
**本物の政治を**  
一人でも多くの方に、  
届けてください。



そして酷な表現をすることを、  
どうかお許しただきたいのですが、  
しかしそれを承知で、  
あえて言わせて頂きます。

悪魔勢力の愚民化政策にハマって、  
「政治なんてどいつもどいつも」  
「誰がやっても  
政治は変わらない」  
と考えることは、  
日本の破壊につながります。



なぜならそれは結局、  
『不自由愚民党』を  
選択してしまっって、

結果的には  
日本の破壊に  
つながっているからです。



「愛の反対は無関心」  
という言葉もありますが、

愛無く、  
政治に無関心で生きる人は、  
日本の破壊者です。

勇気無く、  
政治に臆病に生きる人も、  
日本の破壊者です。



そして愛と勇氣に欠ける  
日本の破壊者は、  
日本人の人生の土台部分の  
破壊者なのです。

厳しい表現をあえてしますが、  
政治に無関心で、  
臆病に生きることは、  
人生の破壊者です。



日本人の愛と勇氣こそが、  
新たな日本を創造するのです。

貴方の愛と勇氣だけが、  
日本を奴隷解放するのです。

本物の愛と勇氣だけが、  
自分も、他の誰かも救うのです。



私たち一般社団法人『武士道』は、  
日本の方々の政治意識を変えて、  
『日米合同委員会』の奴隷支配から、

日本を解放するのみならず、  
中国共産党からも日本を守り、  
徳治政治を望む啓蒙団体です。



私たちは、  
動画や漫画を制作したり、  
イベントを行うことで、  
一人でも多くの方の  
「常識の逆転」を  
目指しています。

街宣などでチラシを配布したり、  
イベントを支えてくださる、  
ボランティアをしてくださる方を、  
心より募集しております。



また一ヶ月  
一口千円からの寄付で、  
啓蒙活動をご支援して下さる、  
賛助会員も募集しております。

特にこのエピソード13は、  
「一冊でも多く小冊子にして、  
一人でも多くの方に、  
届けて読んでもらいたい」  
という想いから急ぎで作りました。



ハッキリ言って、  
このエピソード13の内容が  
世の中に広がるだけでも、  
かなり日本は変わります。

ぜひ、日本の夜明けのために、  
ご支援のほど、  
よろしく願っています。

# あとがき

残念ながら日本には、  
あまり時間が残されていません。  
なぜなら、こうしている瞬間にも、  
日本の破壊活動は進んでいるからです。

悪魔崇拝者たちは、  
日本の貧困化と共に、  
「破壊性ある移民政策」を  
ヨーロッパでも、  
日本でも展開しているからです。  
それはこの漫画の他のエピソードを  
ご覧になれば分かることでしょう。

そしてそれは、  
“偽の経済学”を暴くと共に、  
“真実の経済学”を世に築くことにも、  
つながります。

どうか必ずや日本を守り、  
日本に夜明けを到来させましょう。

ジャパン  
**日本**  
リベンジャーズ

電子書籍：**無料** / 小冊子：**500円**目安

一般社団法人武士道の啓蒙活動に  
ご支援をよろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行(振替口座)

店名：〇二九(ゼロニキュウ)

当座：0105770

名義：シャブシドウ

ゆうちょ他行からのお振込

00280-4-105770

クレジットカードでもご寄付いただけます

スポット寄付

- ・任意の額を
- ・好きな時に



賛助会

- ・任意の口数<sup>※</sup>を
- ・毎月1度



※1口：1,000円～